

令和3年9月27日開催定例美祢市教育委員会会議録（要旨）

開催日時 令和3年9月27日（月）午後2時から午後2時40分

開催場所 美祢市役所3階「委員会室」

出席委員

中本 喜弘 教育長
金子 明美 教育長職務代理者
山本亜由美 委員
刀禰 信子 委員
山田 裕治 委員

5人

出席教育委員会事務局職員

末岡 竜夫 教育次長
八木下理香子 事務局長
河村 充展 // 教育総務課長
渡辺 義征 // 学校教育課長
千々松雅幸 // 生涯学習スポーツ推進課長
池田 正義 // 文化財保護課長
藤本 儀昭 // 学校教育課指導班長
倉増 裕 // 教育総務課総務班長

8人

開 会

教育次長 末岡 竜夫

午後2時 末岡教育次長が令和3年度、9月の定例教育委員会会議開会を宣言する

冒頭報告（要旨）

教育長 中本 喜弘

あっという間に今年度上半期最後の週となった。

コロナ禍で学校現場や社会教育関係で二転三転と対応状況が変わっているが、今日から県の集中対策期間も終了ということで改めて学校の対応、それから社会教育施設等についても市民限定とかあるいはステージを格下げして通常の状態に近い形で運営をするということになっている。

先週、久しぶりに市内で感染者が確認された。38人目ということであるが、県内13市の中では、感染者数は一番少ない。併せて、ワクチン接種率も県内ではト

ップの接種率であり、全国でもトップと言ってもいい状況である。

84%以上という市内の接種率ということで、先週金曜日のコロナ対策会議の中では10月末までには、希望される方全ての接種を終えられるのではないかとの報告を受けており安心したところである。

テレビ等を見ていると、ブレイクスルー感染があるなどの報道がされたり、教育委員会所管の小中学校の中で5歳から11歳については未接種ということになっているが、アメリカではファイザー社製は問題がないという話も出ており、これから3回の接種に向かうと思われるが、そうした年齢層に対して接種していくということも政府で検討されるのではないかと思っている。

2回目接種後の8か月経過についても市内医療従事者等が年末に迎えるようになってくるので、3回目接種の負担ということも議題として挙げられていた。

所管事項に戻ると、9月の上・中旬で、運動会等も無事終了して学校現場もコロナ対応をしっかりと対策しながら子供たちの学びや行事についても行っているところである。修学旅行については、多少まだ流動的な部分もあり、感染拡大が少ない県内の一泊や宿泊なしという形で修学旅行についてできるように進めていきたいと考えている。それに併せて学校訪問を予定しているが、案内した以上に規模縮小になるということの後ほど説明をさせてもらうが、教育委員の皆様には随分の間、学校訪問から離れた状態となっており誠に申し訳なく思っているが協力をお願いします。

気になった点では全国学力調査について詳細が出てきたので報告をさせたいと思う。頑張っている部分と、まだまだ努力しなければならない部分が現れた結果となっているので指導いただければと考えている。

それから、皆様もご存じかもしれないが、町田市でタブレット端末を1年ほど早い形で子供たちに配布して事業展開していたところ、小学校6年生の児童が昨年の11月に自殺をしたという報道があった。それはタブレット端末を使ったSNSでのいじめの中ということで、改めて今年に入ってから報道があったが、美祢市の教育委員会ではSNSを使えないようにするなど、学力のために用いたことでそうしたいじめにつながらないように、しっかり学校と教育委員会とが連携しながら指導を徹底していきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

開会にあたっての報告は以上である。

署名委員指名

教育長 中本 喜弘

署名委員に山本委員、山田委員を指名する。

会議録承認

教育長 中本 喜弘

前回の会議録の承認について、事前に刀禰委員と山本委員へ配布された会議録への意見、質問を委員に求める。

全員承認

教育長報告（要旨）

続いて私の報告であるが、9月の4日、11日、18日と山口県立大学・美祢市サテライトカレッジを3回続けて開催させていただいて、1回目は鈴木先生の本当の仏教、2回目は稲田先生の平家物語の安徳天皇の入水について、それから最後、渡辺先生による古代の美祢と題してそれぞれ興味深い話をいただきながら、コロナ禍ではあるが、多数の市民の参加をいただいた上で開催出来たことを報告したい。

それと関連して、中・高連携の一環として、美祢市役所からもそれぞれの各部活の後援会に入らせていただいております、私も顧問として美祢青嶺高校陸上競技部後援会の方に入らせていただいているが、令和2年度は大会等がかなり中止になって活動の場が少なかったようである。令和3年度は中国大会が夏休みに1回中止になった以外は大会も順調に開催されており子供たちも頑張っているということであった。昨年度は、高校駅伝で県大会では5位、それから中国大会では10位という結果だったようである。今年度は14名の選手が部活で頑張っているということであった。

また、青嶺のOB、環太平洋大学4年で伊佐出身の源裕貴選手、800メートル男子で日本記録を樹立しているが、残念ながらこれはオリンピックの標準参加記録に僅か及ばない記録であり、予選で記録を樹立したが決勝では更なるタイアップが図れなかったということで、今後に期待したいと思う。

それから冬の2021年の箱根駅伝で城西大学の6区に長門出身だが、野村颯斗選手が出場して、美祢青嶺陸上部の名を高めているという報告であった。

それから13日は美祢山梨子供交流事業実行委員会で山梨から子供達をお迎えしてのイベントであるが、2回にわたり中止ということで、今回は、オンラインで交流しようということで、実行委員会の皆さん方のお力添えをいただきながら、千々松課長の下で良い交流ができるようにと実行委員会を開催したところである。

14日から、令和3年度第4回美祢市議会定例会議が始まり、教育委員会の所管では、コロナ対策臨時交付金を使って学校・社会教育施設のトイレの洋式化、それから手洗い場の自動水洗化、各校それぞれ進めていくということで、常任委員会では、可決していただいたところである。明後日に最終の会議があるのでそこで可決されれば、現場の作業、工事に入ることになる。

議会については、期間延長がされて、昨年度の決算についての議論がまた始まるという形である。行事に関しては以上である。

報告を終了し、委員に意見を求める。

意見がないことを確認し、行事報告を終了する。

議題及び議事（要旨）

教育長 中本 喜弘

今回の定例会は報告1件と議案1件である。
報告第12号についての説明を求める。

教育総務課長 千々松 雅幸

報告第12号 美祢市公民館運営審議会委員の解嘱について
公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する審議会である。

この度、8月23日付けの豊田前小学校長の人事異動に伴い、豊田前公民館運営審議会委員の解嘱について、事務委任規則（平成20年美祢市教育委員会規則第5号）第4条第1項の規定により、臨時に代理したので、同条第2項の規定により報告するものである。

教育長 中本 喜弘

公民館運営審議会の件については臨時代理させていただいた。

教育長 中本 喜弘

議案第56号についての説明を求める。

教育総務課長 千々松 雅幸

議案第56号 美祢市公民館運営審議会委員の委嘱について
報告第12号と関連するが、新しく豊田前小学校長の河井校長を豊田前公民館運営審議会の委員に委嘱をしたいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、新たな委員の任期は、令和3年9月28日から令和4年3月31日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第56号は承認された。

協議報告

教育長 中本 喜弘

教育次長に協議報告を求める。

教育次長 末岡 竜夫

本日、定例会議を終了した後に、第二次美祢市小・中学校適正規模・適正配置基本方針に関することで説明をさせていただきたいと思っているので会議終了後に時間をいただきたいと思っている。

教育長 中本 喜弘

会議終了後に時間をいただきたい、よろしく願います。

教育長 中本 喜弘

続いて、教育総務課長に協議報告を求める。

教育総務課長 河村 充展

教育総務課から、大きく2点ほど報告する。

まず1点目、9月議会の件である。

先月の定例会議でも、会議予定等については、お知らせしているので、関連があるところのみ報告させていただく。

定例の9月議会が今月14日から始まっている。9月14日が本会議、9月15日・16日が一般質問、9月22日が教育民生委員会、9月24日が予算決算委員会、9月29日が本会議となっている。

教育委員会事務局からの提出議案はなく、よって教育民生委員会には出席していない。

一方、補正予算を提出しているので、24日の予算決算委員会には関係者が出席、対応している。

補正予算は、学校教育課以外の4課で総額3,720万9千円となっている。

主なものとして、小・中のトイレ手洗いの自動水栓化に約1千万円、公民館のオンライン会議用機器の購入に約510万円、金麗社のトイレ洋式化と自動水栓化に約60万円、温水プールや武道館、弓道場、市民球場、スポーツセンターなどの体育施設のトイレ洋式化や各種改修に総額約2,550万円となっている。

補正予算については、学校トイレの手洗いと公民館オンライン会議用機器購入、体育施設のトイレ洋式化について、委員から質問を受けたが、議案としては、委員会において全会一致で可決されている。

なお、9月は決算議会でもあり、9月29日の最終日に決算関係の追加議案が提出され、会期も延長される予定である。

そのため、10月6日から7日に予算決算委員会、10月13日が最終本会議という予定となっている。

また、一般質問は資料の中に関係箇所に着色しているが、岡山議員から通学路に関する事、山下議員から風力発電事業のジオパークへの影響に関する事、岡村議員からコロナ禍におけるイベント等の行事開催に関する部分で質問

があった。

次に、山口県市教育委員会協議会研修会の件である。

先日、教育委員の皆様にも資料を送付させていただき、出欠の確認をさせていただいているところであるが10月6日の午後が研修日となっている。

会場は、美祢市勤労青少年ホーム図書室としており、当日は午後1時30分から研修会が開始されるので、午後1時20分までに会場にお越しいただきたい。

なお、当日は、先ほど議会日程をお知らせしたが、予算決算委員会が開催される予定となっており、教育長以下議会对応予定となっている。よって、教育総務課の担当者のみで対応させていただきたい。

教育総務課からは以上である。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

続いて学校教育課に協議報告を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

学校教育課からは大きく3点報告する。

1点目は、美祢市公設塾minetoオープニングセレモニーについて、山口県ではデルタ株の緊急対策ということで、当初予定していた9月11日が延期になり、10月9日に公設塾minetoのオープニングセレモニーを開催したいと考えている。

塾への申込み者は25名であった。

25名の子供たちと、市長、副市長等を招いてオープニングセレモニーを予定している。内容については資料に書いてあるとおりの形で進めたいと思っている。

セレモニー終了後に第1回目の「挑戦のトビラ」の授業を行い、参観できるように準備をしているので教育委員の皆様も、都合がつけば出席をいただければと思っている。都合がつく場合は私のほうまで連絡をいただければと思っている。

2点目は、冒頭に教育長の話にもあったが、本年度の学校訪問について説明させていただく。藤本の方から電話等で事前に相談をさせていただいたが、コロナが少し落ちついてきている状況ではあるが、学校の授業に長時間多数で訪問するのは迷惑をかける恐れがあるので、人数を半分に減らして実施したい。二手に分かれていただき、事務局の職員も半分ずつ二手に分かれる方法で今計画をしたものを配布している。今年度から新しく着任した校長がいる学校を訪問するというので以上の7校を訪問したい。

豊田前小学校については、途中人事で校長が代わっているが、先日代わったばかりであり、前校長の今年の方針に基づいて経営されている状況なので、来

年度、新しい校長の下での学校運営というのを報告して、参観と指導をお願いできればと考えている。

予定をご確認いただき都合が悪い場合は学校教育課の藤本まで連絡をいただければ調整して訪問を行っていく予定である。

続いて3点目で、令和3年度全国学力学習状況調査の結果についてである。これも、前回は速報値を皆様に報告させていただいたが、確定値が出たので報告する。前回は小学校の国語のみ、各県平均を上回っているという形だったが、今回の結果を見ると、中学校の国語も、県平均を超える結果であった。

算数・数学については、やはり課題がかなり大きい状況となっており、このあたりについて指導していきたいと思っており、設問ごとの課題、それから、質問紙における課題等が載っているが、さらに詳しい分析をしている。併せて各学校にこの調査の結果を受けての取組状況についても指導主事が聴き取りをしている。

その結果も含めて、各学校に対して個別に、それぞれの課題に応じた支援・指導に入って、来年度に向けて対応していきたいと考えている。以上である。

教育長 中本 喜弘

学校教育課からは3点説明をさせていただいた。公設塾minetoのセレモニーについて、当初は教育委員にも参加してもらおうということを考えていたが、現状、子供たちが25人ということであまりにも大人の数が増えるのがどうかということで、大変申し訳ないが、授業参観に出席可能な方は出てくださいということで教育委員には案内はしていない。お詫びと、御了解をいただけたらと考えている。

また併せて学校訪問について、人数削減ということで全委員が全校をという形にはならないが、改めて新しく着任された校長先生の下で子供たちがどのように育っているのか、現場を見ていただきながらまた指導いただければと思っているので、お願いします。

教育長 中本 喜弘

続いて生涯学習スポーツ推進課に協議報告を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

生涯学習スポーツ推進課から2点報告する。

まず1点目は、山口県立大学・美祢市サテライトカレッジについてである。

3回講座を開催しているが、第1回目の講座は市民会館で本当の仏教というテーマで28名の参加があった。第2回目には平家物語をテーマに美東センターで開催し、20名の参加。第3回目の古代の美祢をテーマにして秋吉公民館で開催し、21名の参加があった。

県立大学の方の話では、他の市町でも同様の講座を開催しているが、美祢市の参加者は非常に多いとのことであった。また、私も講座に2回参加したが、内容が非常に充実したもので、新しい発見ができる喜びを感じることができた講座であった。更に多くの方に受講していただきたいと思っており、今後十分にPR等をしていきたいと思っている。

2点目は、図書館の在り方検討委員会車座集会についてである。

コロナの関係で延期に次ぐ延期となっていたが、10月16日に市民会館大ホールで9時半から開催する予定になっている。都合のつく方は参加していただきたい。

生涯学習スポーツ推進課からは以上である。

教育長 中本 喜弘

車座集会は事前登録となっていたと思うが、都合がつけば課長に連絡いただければと思うのでよろしく願います。

教育長 中本 喜弘

続いて文化財保護課に協議報告を求める。

文化財保護課長 池田 正義

文化財保護課からは1件報告する。

修学旅行に係る予約の状況についてである。

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、今年度の小・中学校の修学旅行の予約を多数いただいている。

9月16日時点の数字ではあるが、長登銅山文化交流館においては、来年3月までで延べ23校の予約が入っている。昨年度の実績は16校なので現状では1.4倍となっている。ちなみに23校のうち16校が初めての利用である。

秋吉台科学博物館においては、これも来年3月までであるが、40校の予約が入っている。昨年度の実績が44校なので若干減少しているが、ほぼ昨年並みとなっている。ちなみに40校のうち15校が初めての予約である。

新規の予約に関しては、近隣市からの予約が増えているのが昨年との違いである。

なお新型コロナの感染の収束が見えない中で、毎日のように旅行会社や学校等から各施設への問合せがあるところであり、今後も増加する可能性はあると考えている。

以上である。

教育長 中本 喜弘

続いて世界ジオパーク推進課に協議報告を求める。

事務局長 八木下 理香子

世界ジオパーク推進課からは1点報告する。

日本ジオパーク全国大会についてである。

来月の10月3日から5日の予定で島根半島宍道湖中海大会として全国大会が開催される。

当初は現地での参加を基本としてオンラインでも参加可能というハイブリット型の予定であったが、新型コロナの状況を踏まえて全てオンラインでの開催という形になっている。昨年度に延期されたものが今年度実施される形になる。

3日間で様々なプログラムが実施される。例年、美祢市内の中学生が持ち回りで全国大会に参加して発表しており、今年度は秋芳中が担当となっており、1年生が1学期から「水」をテーマにジオ学習を進めており、この間のポスターセッションの中で、全国に向けて発表することになっている。

来年度は伊佐中が引受けであり、秋芳中の発表の様子を見ることになっている。

教育長 中本 喜弘

続いて報告をさせたが、今の報告の中でもそれ以外でも委員から提案や意見を承りたい。

全員意見なし

教育長 中本 喜弘

最後に、次回の教育委員会会議の開催について事務局に提案を求める。

教育次長 末岡 竜夫

次回の定例教育委員会会議は令和3年10月28日（木）午後2時から本庁3階委員会室で開催する旨を通知。

全員了承

閉 会

教育長 中本 喜弘

午後2時40分 教育委員会会議の終了を告げる。

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成